

平成 26(2014)年度 基幹研究報告

■テーマ

少子高齢社会における人口の変化と市政への影響に関する 調査研究Ⅲ

—将来人口推計の精度向上および人口の変化に対応するた めの施策展開の検討—

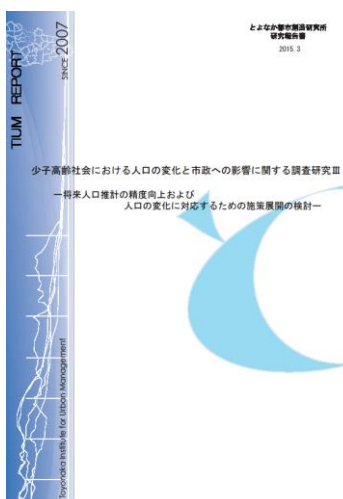
■研究報告書 要旨

高齢化と低い出生率を背景として、わが国の人口減少のテンポは今後ますます加速していきます。日本全体が人口減少の大きな流れにある中で、本市の人口もその影響を受けることは言うまでもありません。しかし、本市の人口は平成17年度（2005年度）以降に微増傾向が続いています。

そこで本調査研究は、本市における人口の状況を明らかにするとともに、今後の人口変化とその市政への影響を展望し、人口減少・少子高齢社会における豊中市の政策形成に寄与することを主たるテーマとし、平成24年度（2012年度）から実施しています。

3年目となる平成26年度（2014年度）は、将来人口推計手法の標準化を検討するとともに、人口問題に起因する将来における課題への対策の検証を行いました。

■研究報告書 目次



第1章 はじめに

第2章 豊中市の将来人口推計の精度向上と標準化

第3章 人口維持施策の先行事例研究

第4章 おわりに

付録 豊中市将来人口推計マニュアル

(森・比嘉・桑野)